

**令和5年 第15回
新春子どもたちの声を聞く会**



日時 令和5年1月14日(土) 10:00~11:30

場所 門川町総合文化会館 大ホール

門川町教育委員会

<会 次 第>

1 開会行事

- (1) 開会のことば
- (2) 教育委員会あいさつ
- (3) 来賓あいさつ
- (4) 来賓紹介

2 児童生徒の意見発表

学校名・学年	氏 名	題 名
門川小学校 5年	ひらやま ののか 平山 暖乃香	すてきな町 門川町
草川小学校 5年	まつざき はるか 松崎 永	わたしの夢のゴール
五十鈴小学校 5年	よこやま こころ 横山 こころ	ふるさとの宝物「つながり」
門川中学校 2年	いわた やすたか 岩田 康孝	世界とつながる門川町
門川高等学校 2年	さかぐち さくら 坂口 咲蘭	私のふるさと、門川町

3 閉会行事

- (1) 講 評
- (2) 記念品授与

4 閉 会



わたしの夢のゴール

草川小学校 五年 松崎 永

みなさんの将来の夢は何ですか。プロスポーツ選手やパティシエ、医師、教師、プログラマー、ユーチューバーになりたい人もいます。夢をもつと、何だかやる気がわいてきますよね。

では、みなさんは、その夢の先のことを考えたことはありませんか。自分がなりたい職業は考えますが、その職業になってから先のことを考えたことはありませんか。最近私は、あることがきっかけとなって、自分の夢の先を考えるようになりました。

私の将来の夢は、「えい画かんとかく」です。私が小学校一年生のころからずっと変わっていません。きっかけは、弟と見ていた戦隊ヒーローの番組だったと思います。弟と毎回欠かさず見ていた戦隊ヒーロー番組ですが、番組を見ながら「私だったら、こんなストーリーにするな。」と考えるようになったのを覚えています。そのころから、「番組作りのスタッフ」、そして「えい画かんとかく」と将来の夢が広がっていったように思います。

夢がはつきりしてからは、ドラマなどを見ながら、「自分だったら、この場面をこうするなあ。」と考えるようになりました。また、想像力を広げるために、たくさん読書をするようになりました。今でも、たくさんの本を読み、たくさんドラマを見ています。

そんな私に、四年生の三学期、ビックなチャンスがめぐってきました。それは、門川町でさつえいする「ヒムカ

イザー」のえい画さつえいのために、子どもスタッフを募集するという話です。そのぼ集には、「かんとかく」に関する仕事もありましたが、その役は、残念なことに、中学生以上という条件でした。私は、どうしてもえい画作りを体験したかったので、小学生でも応ぼできる「出演者」で申しこみました。そして、その志望動機を書きこむらんに、自分のたくさんのお手伝いを書きこみました。

数日後、母に電話がありました。私が申しこんだえい画の関係の方からでした。その内容は、「出演者ではなく、助かんとかくとしてお手伝いしませんか。」というおさそいでした。私は、飛び上がるほどうれしくなりました。

十二月十日には、えい画が成功するようにと、スタッフ全員で門川神社にお祈りし、えい画のさつえいがスタートしました。しかし、私の「助かんとかく」としてのスタートはまだ始まっておらず、これからです。私の「助かんとかく」としての仕事は、出演者に集合時刻や移動場所を教えたり、その場所に連れて行ったりする仕事だそうです。それ以外の時間には、「かんとかく」のそばにいて、「かんとかく」のお手伝いがすぐにできるようにしておくのだそうです。私は、スムーズにさつえいが進められるように、出演者に正確に、はきはきと情報を伝えたいと思っています。そして、「かんとかく」がどんなことを言うのか、どんなことをするのか、しっかりと目と耳で確かめたいと思います。

私は、これからの体験が本当に本当に楽しみます。この貴重な体験を大切に、自分の夢である「えい画かんとかく」になることを必ず実現します。そして、この夢のゴ

ールとして、門川町におん返しをすることを実現させたいと思います。

私が考えているおん返しの方法は二つです。一つ目は、門川町の子どもたちに、いろいろな職業があることを、体験を通して知らせていくことです。今回のさつえいで私は、「助かんとく」という役を体験させてもらいますが、さつえいするためには、「スクリプター」とか、「へん集技師」とか、「せん伝戦略係」など、知らない役割がたくさんあって、たくさんの方が集まって一つの映画が完成することが分かりました。えい画作りには、多くの役割があることを知って、ますます「えい画かんとく」になりたくまりました。いろいろな職業をくわしく知ることができれば、子どもたちの夢の選たくしが増えると思います。だから、私は、「えい画かんとく」になって、今回私が体験させてもうように、えい画体験はもちろん、その他のたくさんの方々に呼びかけて、子どもたちがいろいろな職業を体験できる機会を作りたいと思います。

二つ目は、自然豊かな門川町をぶ台としたえい画作品を作り、全国に門川町のすばらしさを広めることです。私は、門川町の海や川、山や空、そして門川の人たちが大好きです。門川町のすばらしさを知らないのは、もつたいないことだと思います。だから、門川町のすばらしさを全国の人たちに知ってもらい、多くの人たちに来てもらって、自分の目で門川町のすばらしさを見てもらいたいのです。たくさんの方が来れば、町全体がもっともり上がると思います。

これが私の夢のゴールです。考えるとわくわくしてきます。今、夢をもっているみなさん、夢のゴールを考えてみてください。自分でしか考えられない夢のゴールを見つけてください。